

事例 1

迷路作りから

【活動のきっかけ】 5月の子どもの姿

◎ 5月4～5週のねらい：いろいろな友だちと関わり、お互いの
思いを言ったり聞いたりしながら遊ぶ

◎楽しんでいた遊び：

跳び箱
一輪車

ドッチボール

魚釣り・キャンプ
プリキュアごっこ
魔女ごっこ

ごっこ的な遊び
を活動として
やってみたら
どうかな？

年長さんみんなでお店屋さんごっこをして遊ぼう
と思うんだけど、何をやってみたい？



さくら組…迷路やさん

ひまわり組…おすしやさん

ゆり組…プリキュアショー

遊びの相談(さくら組)

水族館だと去年の年長
さんと同じじゃない？

おばけは？
忍者迷路は？

じゃあ、3つ合体
させたらいいん
じゃない？

いいよ！

迷路やりたい！
水族館迷路にしよう



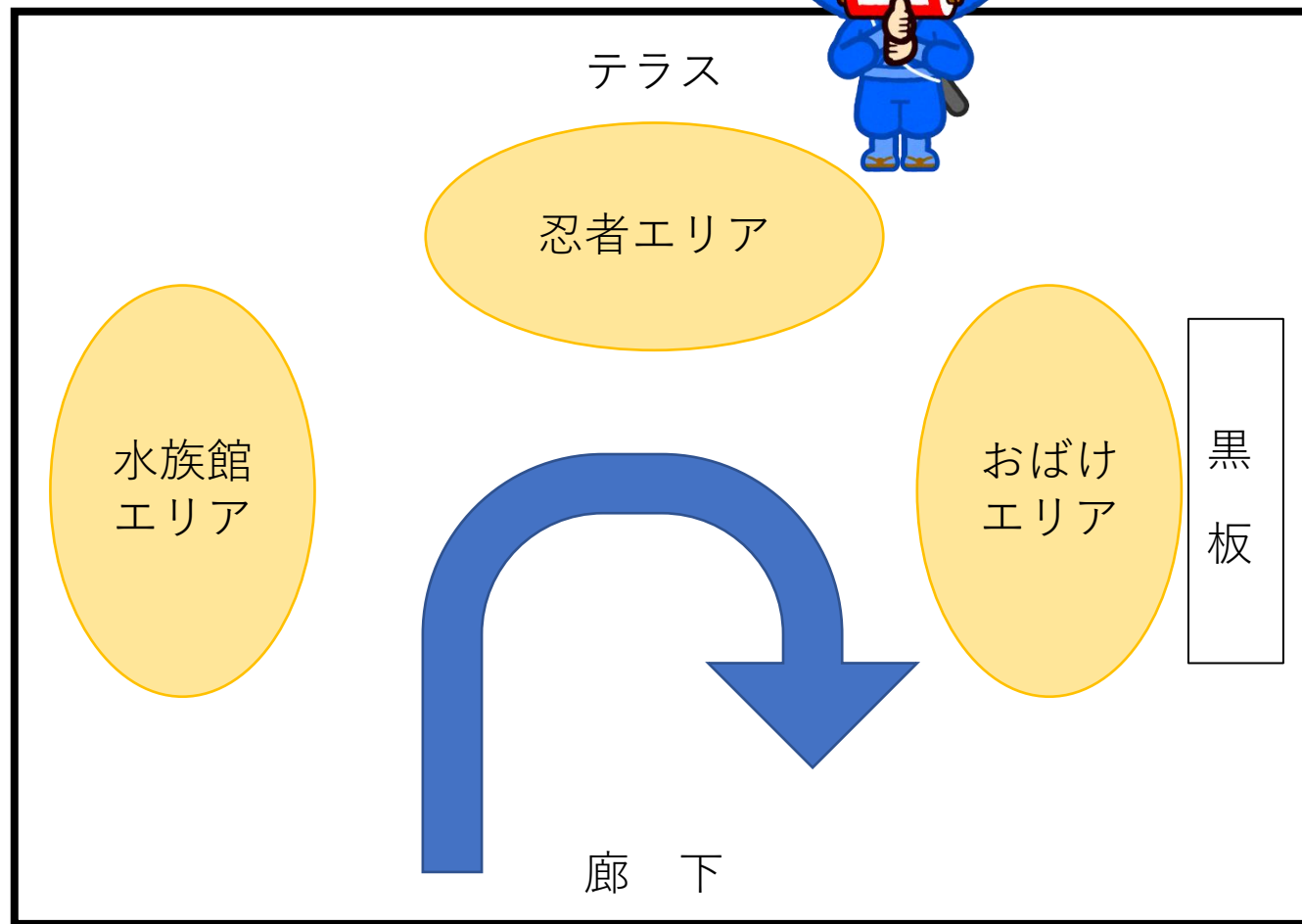
去年の年長児がし
ていた遊びが心に
残っているんだな

新しいものを作
ろうとする気持
ち、いいぞ！！

期待が高まってきた！
今から作り始めよう！
困ったところはその時
に考えよう！

じゃあ3つ合体した迷路でいい？

迷路作りスタート



チームに分かれて迷路作りスタート！

水族館エリアでは…

自分たちで役割分担しながら
作っている

自分たちで進めている
から、任せよう！

忍者エリアでは…

意欲的に作っているが、目的
無く作業していることも…

忍者らしさをどう出すか、
衣装や小道具を確認して
みよう

おばけエリアでは…

驚かせたい思いで、変装グッ
ズ等を作っている

様子を見つつ、尋ねられた
ときには手を貸そう

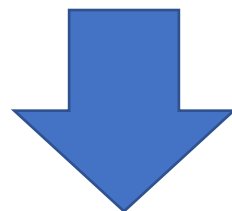


エピソード
「全然こわくない」

おぼけエリアでは…

変装グッズ作り

隠れ場所作り



完成☆

お客さんが来る！
隠れておどかさう！！

実際に驚かせてみようとするが・・・

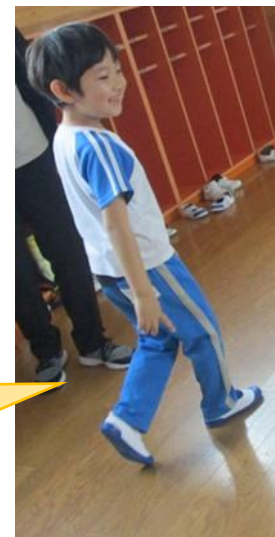
どうしよう...

一人じゃ言えない...

はずかしくなってきた...

みんなで言おう
“せ～の”
うらめしや～

ぜんぜん怖く
なかったもんね



しかし、お客さんたちはすでに通り過ぎてしまっていた・・・

このまま子どもたち
に任せて様子を見る？

このままだと停滞し
てしまいそうだから、
保育者も一緒にやる？





よし！一緒におばけに
なって驚かせよう！

ところが...

こっちだよ～
ベロベロベ～



**驚かせることを
やめる子どもたち...**

チームで話し合ってみることに

「『怖くない』って言わないで」って
て言えばいいんじゃない？

本当にそれでいいの？

私は驚かせたい！

チームだけではいい案が浮かばず、振り返りの
際にクラスに投げかけてみるが・・・

怖がってくれなくて悲しかった

だって本当に怖くないんだもん

もっとうらめしや～って
怖く言う？

「・・・」
無関心な子どももいる

子どもから納得のいく
考えが出てこない
…どうしようかな？

「驚かせる」といっても
おばけやしきの経験がない…。
恥ずかしがらずに驚かせたら
いいな。

保育者の案も伝える？
一回話し合いを終わる？



こんな状況になった時、みなさんならどう子どもたちに関わりますか？



「先生だったら、お客さんが近づくまで隠れていて急にワッて驚かせるよ！あとは大きな音を出す！

ダンダン！！
(ダンボールを叩く)

「こわっ！！」
「びっくりした！！」

「やってみたい！」

先生をお客さんにして、試してみることに

怖がってる！
やった～！！



ダンダン！！



キャー！！こわ～い！！

楽しいね！！



ばああ！！

雰囲気が一転し、やる気が
戻ってきた！！

振り返って…

考えがでてこない

遊びの停滞

アイディア

一緒に遊ぶ

**やる気UP！
新たな発想！**

子どもも主体

保育者も主体



共につくり出す

